

ようやく秋めいた季節となりました。気分一新、模様替えでも!

## 色の使い方で部屋の印象が変わる カラーコーディネートその1のルール

部屋の印象は、間取りや家具だけでなく、カラーコーディネートが大きく作用します。センスのいい部屋は、カラーコーディネートが上手にできています。センスアップを目指し、カラーコーディネートのルールを2回に分けてご紹介します。

### 色のバランス

**最大のポイントは、色数を多く使わないこと**

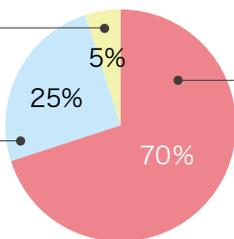
3色程度に抑えて、「ベースカラー70%」、「サブカラー25%」、「アクセントカラー5%」がベストという法則があります。

#### アクセントカラー

クッションや絵、雑貨、花、植物など  
ベースカラーやサブカラーの反対色

#### サブカラー

テーブルなどメインの家具、  
ソファ、カーテン、ラグ、  
ベースカラーと同系色



3つに分類した色の割合

#### ベースカラー

主に、床、壁、天井の色、  
白系、ライトブラウン、  
ダークブラウンなど

### 補足 ワンポイント アドバイス

#### 床が好みの色でないときは

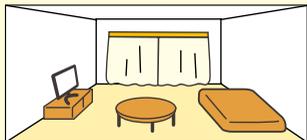
ラグを敷いて色を補うといいでしょう。例えば、白系をベースカラーにしたいのに床がダークブラウンの時は、白系のラグを敷けば色が補えます。

### ベースカラーとサブカラー

### ベースカラーを見極めてサブカラーの法則をチェック!!

サブカラーは、同系色で統一するのがおすすめ。好きな色をサブカラーやアクセントカラーとして加えると個性も出せます。ただし、上記の色配分を守って!!

#### ベースカラー 白



#### 明るくさわやかな空間

サブカラーを同系色にすることで、部屋が明るく見え清潔な印象に見えます。白系以外では、ベージュやライトブラウンにすると、ナチュラルでおしゃれな印象に。ただし、ダークブラウンにすると、明度が違いすぎるので避けた方がいいでしょう。

#### ベースカラー ライトブラウン



#### ぬくもりがあってやわらかな空間

家具類は、パインやメープルなど明るい色調の素材が合います。そこに、白系やベージュのカーテンをかければ、ぬくもりあるやわらかい空間に。クリーム色やオレンジのファブリック(布地)も相性がいいです。

#### ベースカラー ダークブラウン



#### 落ち着きがあってくつろげる空間

同系色の家具を置くと、失敗しません。ただし、暗めの色が多いと部屋全体が狭く見えるので、カーテンやベットのカバーには、白系かベージュを使うと、全体のバランスが良くなり明るく見えます。

#### ベースカラー グレー



#### 都会的でスタイリッシュな空間

グレーは家具と合わせにくいので、床に濃い色のラグを敷くと、全体が引き締まります。カーテンにはラグと同系色で明るいものをおすすめです。家具は、パインやメープル、白系やベージュを組み合わせると。

from バックナンバー 174号「カラーコーディネートのコツ・色の持つイメージ」、183号「あなたのお部屋をデザイナーズモデルルームへ!」  
224号「色彩・明るさ・収納のポイント!」、255号「風水・ツキを呼び込む色を取り込む玄関づくり」もあわせてご覧下さい。